

発行 社会福祉法人 聖友ホーム
 聖友乳児院（乳児院）
 聖友学園（児童養護施設）



聖友ホーム応援団 聖友ホーム ささえ隊 会員募集中！

『ささえ隊』について詳しくは HP またはチラシをご覧ください



聖友ホームで生まれたすぎなみ里親プロジェクトをご紹介します！

聖友乳児院と聖友学園の職員が協力して 里親支援のイベントを企画

国が、里親委託や養子縁組の普及を推進するなか、里親をサポートする支援体制の強化・充実が各関係機関に求められています。

聖友ホームでは、すでに数年前からその職についている聖友乳児院の『※里親支援専門相談員（松本）』と『※里親交流支援員（山田）』に加え、国の方針に基づいて昨年度から児童養護施設・聖友学園にも『里親支援専門相談員（杉井）』を配置。それにより、2つの施設の職員からなるチーム体制が実現し、里親支援イベントの企画・運営に3名が力を合わせ、すぎなみ里親プロジェクトとして取り組むようになりました。



すぎなみ里親プロジェクトのメンバー
 左から、杉井、山田、松本

まずは地域の人から、 里親について理解を深めたい

昨年度は、里親について理解を深めるためのイベント『里親カフェ』（詳細は次ページ）を3回にわたって開催しました。

「まずは、地域の方たちに里親さんのサポーターになっていただきたいです。サポーターと言っても特別なことをしていただくわけではなく、里親さんに対して〈大丈夫だよ、見守っているよ〉というメッセージを発することができる人を一人でも増やしていきたいと考えています（乳児院・山田）」。

3人いるから心強い！

乳児院と児童養護施設が同じ敷地内にある聖友ホーム。里親支援においては両施設の職員がともに関わっているため、イベントに参加した様々な年齢の子どもに対応できるなど、そのメリットが活かされています。

「3人いるから心強い！」と口を揃える職員たち。「何をやろうか」「どんな準備をしたらよいか」などと知恵を出し合っています。

今年も『里親カフェ』を、3回のうち1回はワークショップ形式で開催予定。すぎなみ里親プロジェクトについて詳しくは、専用ホームページをぜひご覧ください。

※里親支援専門相談員とは？

児童相談所と連携して里親の開拓や里親に対する研修などを行ない、里親家庭のアフターフォローなどで地域の里親を支援する。

※里親交流支援員とは？

子どもと里親の初顔合わせから里親宅に委託されるまで、子どもと里親の交流を支援。また、里親サロンの運営など里親同士の交流も支援する。

里親制度の普及啓発と里親家庭の支援のために・・・

“里親カフェ”を開催！

聖友ホームの職員が立ち上げたすぎなみ里親プロジェクトによるイベント『里親カフェ』は、地域の子育て支援者と里親をつなぐことを目的に、昨年度からスタート。今年度もさらにパワーアップさせた形で開催を予定しています。

里親を増やすには、まずは支援者から

「もっと多くの方に里親制度を知っていただき、地域で子どもたちの育ちを支えていきたい」という思いを込めて、昨年度より始めた『里親カフェ』。地域の理解者を増やすことを目的に、全3回、地元のカフェ店にご協力いただき、貸し切りで行ないました。



超満員の店内！
('18.10/25 阿佐ヶ谷のカフェPUBLICにて)

‘18年10月に行なわれた第3回目の里親カフェも、1回目2回目が続いて、たくさんの方にご参加いただきました。

里親制度の説明のあと、実際に杉並区で里親をされている方が体験談をお話くださり、里親になりたい方や、「里親さんをどうサポートしたらいいの?」と関心のある方たちが熱心に耳を傾け、店内は心地よい熱気に包まれました。

参加した方からは、「里親制度を理解することが、里親さんのサポートにつながるということができてよかった」などの感想が寄せられています。

今年度は7,8,9月に、『里親カフェ』と参加型イベント『里親ワークショップ』の開催を予定。地域の皆様とともに里親制度の普及啓発と里親家庭の支援に努めるすぎなみ里親プロジェクトの活動に、ぜひご注目ください。



カフェ入り口。風船を飾りWELCOME!



福祉新聞('18.9/10発行)にも取り上げていただきました



第7回

委員会活動紹介

————— 学園では8つ、乳児院では7つの委員会を設けています。 —————

それぞれの委員会に全職員が関わり様々な活動をしています。

今回は学園、乳児院共にリスクマネジメント委員会をご紹介します。

委 員 会	
学 園	●育 成 ●余 暇 ●学校・学習 ●保健・用品 ●防災・防犯 ●地域交流 ●リスクマネージメント ●食 育
乳児院	●養 育 ●余 暇 ●看 護 ●お楽しみ実行 ●防災・防犯 ●地域交流 ●リスクマネージメント

学 園

リスクマネジメント

リスクの可視化・全体化で事故を防止！ 支援力向上のために“ニヤリハット”も活用

[ヒヤリハット] (事故につながりかねない危険な状況を発見し、ヒヤリ・ハットとすること)

学園のリスクマネジメント委員会では、事故の発生を未然に防ぐために、『ヒヤリハット』の報告書を提出し、業務の中で発生したリスクを可視化・全体化するとともに、分析する作業を定期的に行なっています。

サービスの質や支援力をより向上させるために、『ヒヤリハット報告書の分析作業』を昨年度から年2回実施するなど、分析力の向上にも努めています。

[ニヤリハット] (思わず「にやり」と笑顔になったり、「ほっと」心が温かくなったりするエピソード)

職員が、他の職員の良い行動・工夫していること・前向きな姿勢などを『ニヤリハット』の報告書にあげ、全体に共有することで、新しい気付きや支援力の向上を目指しています。

『ニヤリハット』の積極的な提出を促すために、年3回の職員会議の中で記入する時間を設けることや、ホーム会議で職員の良い行動などを共有することで意識付けを図っています。

他の職員の良いところを『ニヤリハット』という形で評価・共有し、職員がお互いの行動を認め合えることができれば、支援力もより向上し、子どものためにつながると考えています。

乳児院

リスクマネジメント

子どもたちが安全に過ごせるよう 院内で発生する危険を最小限に！

[ヒヤリハットの検証]

職員から報告された『ヒヤリハット』を委員会で検証し、同じような『ヒヤリハット』が再び生じないよう改善策を考えています。

—ヒヤリハットの事例—

*子どもが口をもぐもぐ動かしているのを確認するとプラレールの破片が入っていた。連結部分を噛み、折れたと思われる。誤飲していたかと思うとヒヤリとする。

*夜勤時、倉庫へ向かう際、外へ通じる出入り口の鍵が開いていた。誰かが侵入する危険があった。

[アンケートやマニュアル作り]

年2回、「院内で危険箇所や補修箇所がないか」等について職員アンケートで洗い出し、その結果を検証。危険箇所の補修・保全に努めています。

また年1回、「職員行動マニュアルが守られているか」を職員アンケートでチェックするとともに、マニュアルに対して意見があれば検討し、より良いマニュアルになるよう改訂も行っています。

危険を感じる度合いは人によって違うこともありますが、院全体を通して危険に対する意識を高めることが重要だと思えます。『ヒヤリハット』を全員で共有し、「自分も気を付けよう」と肝に銘じることで、院内の安心・安全をしっかりと管理していきたいと考えています。

地域の皆さまとともに… 聖友ホームの催し

pick
up

聖友ホームでは地域に根ざした施設であることを大切に、
様々な催しを開いて皆さまにご参加いただいています。
この半年間に行なわれた催しの中から一部をご紹介します。

阿佐谷ジャズストリート

(’18年10/27 @聖友学園ホール)

聖友ホームとして3回目の参加。ジャズシンガーの
中本マリさんとピアニストの福井ともみさんによる
楽しいステージに会場は
大盛り上がり!

“赤ちゃんも歓迎”の第二
部では、小さなお子様も
体を揺らしてジャズを楽
しんでいました。

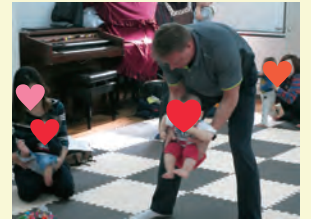


小さなお子様もジャズを鑑賞

ベビー発達かかわり遊び教室

(’18年11/2 @聖友学園ホール)

歩行前のお子さんを対象に、心の安定と心身の発達を
促し親子の絆を深める感覚運動のワークショップを、
講師にトートガーボール氏
(相模女子大学 子ども教育
学科教授)を招いて開催。
遊び方やかかわり方を学ん
でいただきました。



講師の先生による実演

ゆうやけ市 (’18年11/11 @阿佐谷交友会商店街)

毎年5月と11月、地元の
商店街・交友会が主催する
「ゆうやけ市」に出店させ
ていただいています。今回
も“特製カレーライス”が
大好評でした!



毎回ボランティアさんにご協力いただいています

日本漢字能力検定 (’19年1/22 @聖友学園ホール)

地域の方に受験していただく漢字検定も3年目とな
りました。今年度は以前に聖友学園で受験した方も
多く、当施設が少しずつ漢字検定会場として根付いて
きていることを実感しています。今回は22名が受験
されました。今後も継続して実施していきます。

ママ撮り写真館 (’19年2/22 @聖友学園ホール)

オリジナルのガーランド
作りを楽しんだ後、撮影
ブースでお客様の写真
撮影をしていただくイベ
ント。用意した可愛いコ
スチュームや楽しさいっ
ぱいの撮影ブースに、マ
マカメラマンのテンションもアップ!
フォトフレーム作りも楽しんでいただ
きました。



今だけの一瞬をパチリ!

施設見学・説明会 (毎月@各施設)

聖友乳児院と聖友学園では基本的に毎月、
施設見学・説明会を行なっています。

就活中の方は
もちろんのこと
、「聖友ホーム
ってどんなと
ころ?」と関心
がある方はど
なたでもご参
加いただけます。



院長による乳児院説明会の様子

ホームページで日時などの詳細をご確認の上、
お申し込みください。

編集後記

今号では、『すぎなみ里親プロジェクト』をご紹介しました。
「ごく当たり前に身近に里親さんがいて、ごく当たり前に周囲となじんでいる」そんな社会になっ
て欲しいと願わずにはられません。里親制度について一人でも多くの方に関心をもっていただき
たく、今後もぴーちっこで取り上げていけたらと思います。



発行 社会福祉法人

聖友ホーム

聖友乳児院(乳児院) 聖友学園(児童養護施設) 〒166-0001 杉並区阿佐谷北3-28-19

聖友乳児院 TEL 3338-1849 FAX 3338-4679

聖友学園 TEL 3338-1844 FAX 3338-1894

Eメール sasaetai@seiyuhomu.or.jp ホームページ <http://www.seiyuhomu.or.jp/>